

広報

第77号



日大山形

令和4年9月29日発行

オリンピックと

夢の競演！



8月27日 桜華祭特別文化講演会を終えて

第六回
桜華祭

八月二十七日・二十八日の二日間にわたって、今年度の桜華祭が行われた。昨年度以上に全国的に新型コロナウイルスの感染状況が日々「過去最多」を更新する中、万全の感染対策をとりながらの実施となった。多くの制約もあり、ご家族や地域の方々に向けた一般公開ができなかったが、生徒たちは、充実した内容にしたという思いを企画に込め、熱心に準備を行った。

育館に一堂に会することができた。音響・照明を入れるなど、コロナ前の桜華祭の雰囲気や少い取り戻しつつあると感じた。

文化部の活動や各クラス企画展示についてもそれぞれの団体が創意工夫を凝らし、感染症予防として、教室内の人数を制限したり、換気等も行ったりと、万全な対策を講じた。生徒からは、観覧の時間が足りない、もっと見たいという感想も聞かれた。さらに近年の大会で高い実績を残している文化部の展示に対しても評価が高く「生物部・写真部・美術部・書道部・漫画部・英会話部・図書委員会」等の展示も大盛況であった。

三年生のある生徒が、「今年の桜華祭は過去三年間の中で一番楽しかった」と笑顔で語る姿が大変印象的であった。来年こそはこの感染症が収束し一般公開の実施が叶い、ご家族や地域の方々にも是非ご覧いただきたいと切に願っている。

三年ぶりに全校生徒が体育館に一堂に会することができた。音響・照明を入れるなど、コロナ前の桜華祭の雰囲気や少い取り戻しつつあると感じた。

文化部の活動や各クラスの企画展示についてもそれぞれの団体が創意工夫を凝らし、感染症予防として、教室内の人数を制限したり、換気等も行ったりと、万全な対策を講じた。生徒からは、観覧の時間が足りない、もっと見たいという感想も聞かれた。さらに近年の大会で高い実績を残している文化部の展示に対しても評価が高く「生物部・写真部・美術部・書道部・漫画部・英会話部・図書委員会」等の展示も大盛況であった。



今年の桜華祭は過去三年間の中で一番楽しかった」と笑顔で語る姿が大変印象的であった。来年こそはこの感染症が収束し一般公開の実施が叶い、ご家族や地域の方々にも是非ご覧いただきたいと切に願っている。

文化部の活動や各クラスの企画展示についてもそれぞれの団体が創意工夫を凝らし、感染症予防として、教室内の人数を制限したり、換気等も行ったりと、万全な対策を講じた。生徒からは、観覧の時間が足りない、もっと見たいという感想も聞かれた。さらに近年の大会で高い実績を残している文化部の展示に対しても評価が高く「生物部・写真部・美術部・書道部・漫画部・英会話部・図書委員会」等の展示も大盛況であった。

生徒会長 會田 峰士
近年の桜華祭の中で最も充実したものになったと自負しています。感染予防対策をしっかりと行い、また、ふだん味わうことができない多くの経験ができました。
卓球の張本智和選手の講演会での「継続は力なり」「凡事徹底」は私たちが掲げる目標でもあり、これからも実践していきたいと思っています。また、張本選手のプレーを間近で見、世界レベルの凄さを実感できました。私たちがと学年が一つしか違わない同世代であるものの、考え方が大人で尊敬できる方であると感じています。
クラス企画では限られた費用、人数、時間の中で自分たちの工夫を持ち寄って良いものを生み出すことができ、また団結力も養えたようです。各部活動の発表やフリーステージでは生徒それぞれが楽しみ、そして観る人を笑顔にさせるたくさんの企画に出会えました。
企画・運営に当たる生徒会役員・実行委員は行動力にあふれており、また先生方のご協力をいただき、大成功を収めたこと



特別文化講演は付属校の先輩である張本智和選手をお招きしました。実際にお会いし、明るい性格の中にも冷静で強く志のある方だと感じました。卓球で活躍されている方なら優先順位が一番に卓球がくるかと思いきや、勉学に励むことが大前提であったことに感銘を受け、私も受験に向かって走り続けようと改めて決意しました。
文化部員の、発表を通して自己表現をする姿はとも輝いており、三年生にとっては集大成に相応しい発表だったと感じました。クラス企画では活動を通し、クラスメイトの良いところに気づくことができ、たくさんのお話が生まれ、交流が深まり忘れられない思い出になったと思います。
桜華祭を通し、私たちの青春の新たな一ページを刻むことができました。

生徒会副会長 佐藤 亜海
未だ余韻がさめやらない中、桜華祭の様子を思い返してみると一人ひとりの強い思いで出来上がったものだと感じています。生徒会役員・実行委員の運営、各クラスの全員の準備、先生方のバックアップ、どれも欠いても素敵な桜華祭を創ることはできませんでした。制約はあったものの、通常開催に近い形で実施できたことに深く感謝しています。



特別文化講演は付属校の先輩である張本智和選手をお招きしました。実際にお会いし、明るい性格の中にも冷静で強く志のある方だと感じました。卓球で活躍されている方なら優先順位が一番に卓球がくるかと思いきや、勉学に励むことが大前提であったことに感銘を受け、私も受験に向かって走り続けようと改めて決意しました。
文化部員の、発表を通して自己表現をする姿はとも輝いており、三年生にとっては集大成に相応しい発表だったと感じました。クラス企画では活動を通し、クラスメイトの良いところに気づくことができ、たくさんのお話が生まれ、交流が深まり忘れられない思い出になったと思います。
桜華祭を通し、私たちの青春の新たな一ページを刻むことができました。

未だ余韻がさめやらない中、桜華祭の様子を思い返してみると一人ひとりの強い思いで出来上がったものだと感じています。生徒会役員・実行委員の運営、各クラスの全員の準備、先生方のバックアップ、どれも欠いても素敵な桜華祭を創ることはできませんでした。制約はあったものの、通常開催に近い形で実施できたことに深く感謝しています。

桜華祭 特別文化講演

～東京五輪銅メダリスト 卓球全日本代表 張本智和選手～



本校桜華祭ではこれまで著名な文化人・スポーツ選手を招いて「特別文化講演会」を実施してきた。今年度は、昨年の東京五輪・卓球男子団体で銅メダルを獲得した張本智和選手（19歳、早大、IMG所属）を招いて開催した。

張本選手は横浜市の日本大学高等学校を今春卒業。本校の中園健二校長は張本選手の高校時代の恩師に当たる。本校からの講演依頼に「日ごろから中園先生にはお世話になっており、恩返しをさせていたいただきたい」、「同じ日本大学の付属高校で学ぶ、いわば『付属高校の後輩たち』にメッセージを伝えたい」、「仙台出身ということから、東北のみなさんへの恩返しになればうれしい」と快諾いただいた。

講演の前日までナショナルチームの合宿があり、翌日からまた名古屋で合宿、福岡で大会とスケジュールが詰まっている中、唯一の休日を本校の講演会のために割いていただいた。

当日は中園校長による張本選手の紹介ののち、張本選手からのメッセージ、生徒からの質問コーナー・本校卓球部員との卓球対決と充実したライオンナップ。特に「生徒からの質問コーナー」は競

技と学習との両立、メンタル面、プライベートと多岐にわたり多くの質問が寄せられ、生徒の関心の高さがうかがうことができた。張本選手は大切にしている言葉として、「攻撃は最大の防御なり」、「苦しみなくして勝利なし」、「凡事徹底」という言葉を挙げ、「苦しいことを乗り越えようとやがては楽しいことに変わる。頭を使っただけで考えることも必要なので、卓球と同じくらい勉強にも真剣に取り組んだ」と語った。

また、「本校卓球部員との卓球対決」ではメニユーを本校卓球部員が作成。世界レベルの技術の高さを肌で感じ、まさに「夢の競演」となった。卓球部員は「世界で活躍する選手が勉強と卓球を両立させていて驚いた。対戦では、球の回転が強くて返しにくかった。張本選手はまだ本気を出していないと思うので驚いた。これまでもたくさん努力をしてこのような技術を手に入れられたと感じた」と語る。

講演を終えた張本選手は「高校に来て文化祭で話すのは初めてで緊張した。何ごとも諦めないことや日頃の生活や勉強や部活動などに全力で取り組んでほしいということと話を伝えたかった」と話した。



一学年

山形県体育館

- 男子バレーボール
 - 一位 1組A
 - 二位 1組B
 - 三位 7組B・8組B
- 女子バレーボール
 - 一位 9組A
 - 二位 5組B
 - 三位 6組B・7組B
- オセロ
 - 一位 5組
 - 二位 2組
 - 三位 1組・3組
- アームレスリング
 - 一位 2組
 - 二位 5組
 - 三位 6組・9組
- ドッジボール
 - 一位 6組B
 - 二位 1組B
 - 三位 3組A・7組B
- バドミントン
 - 一位 1組
 - 二位 5組
 - 三位 4組・8組
- 卓球
 - 一位 8組
 - 二位 9組
 - 三位 7組・2組
- クラス対抗リレー
 - 一位 5組
 - 二位 7組
 - 三位 4組



二学年

本校体育館

- 男子バレーボール
 - 一位 9組
 - 二位 5組
 - 三位 3組
 - 女子バレーボール
 - 一位 3組
 - 二位 9組
 - 三位 6組
 - 男子卓球
 - 一位 5組
 - 二位 7組
 - 三位 1・2組合同
 - 女子バドミントン
 - 一位 7組
 - 二位 1・2組合同
 - 混合リレー
 - 一位 1・2組合同
- (以上、各種目一位のみ表彰)



三学年

山形市総合スポーツセンター

- 男子バレーボール
 - 一位 1・2組合同
 - 二位 5組
 - 三位 9・10組B合同
- 女子バレーボール
 - 一位 1組
 - 二位 9・10組合同
 - 三位 7・8組合同
- 男子バスケトボール
 - 一位 7組
 - 二位 4組
 - 三位 6組
- 女子バスケトボール
 - 一位 7・8組合同
 - 二位 3組
 - 三位 4組
- 卓球
 - 一位 6組
 - 二位 1組
 - 三位 7組
- 借り物競争
 - 一位 6組
 - 二位 10組
 - 三位 8組
- クラス対抗リレー
 - 一位 4組
 - 二位 1組
 - 三位 7組



七月二日・三日の両日、三年ぶりに全学年同一の日程での開催となった。生徒たちの見せるはつらつとした姿に、

無限大のパワーを感じる事ができた二日間。各学年の入賞クラスを記すとともに、全校生徒の健闘を称えたい。

部活動報告

運動部

野球部

第69回春季東北地区高等学校野球山形県予選会
山形県予選会
第一〇四回全国高等学校野球選手権山形県大会

男子バスケットボール部

藤井杯/高野杯
山形県高等学校総合体育大会
山形県高等学校総合体育大会

サッカー部

山形県高等学校総合体育大会
山形県高等学校総合体育大会

剣道部

村山地区高等学校総合体育大会
山形県高等学校総合体育大会

バドミントン部

山形県高等学校春季バドミントン選手権

陸上部

村山地区高等学校総合体育大会
山形県高等学校総合体育大会

柔道部

山形県高等学校総合体育大会
山形県高等学校総合体育大会

卓球

山形県高等学校総合体育大会
山形県高等学校総合体育大会

ボクシング部

山形県高等学校総合体育大会
山形県高等学校総合体育大会

ソフトテニス部

山形県春季ソフトテニス選手権大会
山形県高等学校総合体育大会

男子バレーボール部

山形県高等学校総合体育大会
山形県高等学校総合体育大会

水泳部

山形県高等学校総合体育大会
山形県高等学校総合体育大会

男子テニス部

第44回東北ジュニアテニス選手権大会

女子テニス部

山形県高等学校総合体育大会

男子バレーボール部

山形県高等学校総合体育大会

女子バレーボール部

山形県高等学校総合体育大会

U18 シングルス
 優勝 遠藤 大空(朝日中)
 二位 小川 郁哉(山辺中)
 三位 池野 匠(山形六中)
 四位 岩田 圭(山形六中)
 U16 シングルス
 優勝 富樫 琢磨(東根一中)
 二位 山口 陽生(赤湯中)
 U18 ダブルス
 優勝 四釜 瑞己・小川 郁哉
 二位 遠藤 大空・池野 匠
 四位 岩田 圭・後藤 大我
 U16 ダブルス
 優勝 山口 陽生・富樫 琢磨
 村山地区高等学校総合体育大会
 団体優勝
 遠藤・池野・四釜・小川・山口
 シングルス
 優勝 富樫 琢磨(東根一中)
 二位 遠藤 大空(朝日中)
 四位 山口 陽生(赤湯中)
 ダブルス
 優勝 四釜 瑞己・小川 郁哉
 二位 山口 陽生・池野 匠
 三位 遠藤 大空・池野 匠
 山形県高等学校総合体育大会
 団体優勝
 遠藤・池野・四釜・小川・富樫
 シングルス
 優勝 富樫 琢磨(東根一中)
 二位 遠藤 大空(朝日中)
 四位 山口 陽生(赤湯中)
 ダブルス
 優勝 四釜 瑞己・小川 郁哉
 二位 山口 陽生・池野 匠
 三位 遠藤 大空・池野 匠
 東北高等学校テニス選手権大会
 団体 三位
 遠藤・池野・四釜・小川・富樫
 シングルス
 五位 池野 匠(山形六中)
 ダブルス
 五位 四釜 瑞己・小川 郁哉
 国民体育大会山形県予選会
 シングルス
 優勝 池野 匠(山形六中)
 二位 遠藤 大空(朝日中)
 三位 富樫 琢磨(東根一中)
 四位 山口 陽生(赤湯中)
 全国高等学校総合体育大会
 団体 出場
 遠藤・池野・四釜・小川・富樫
 シングルス
 出場 富樫 琢磨(東根一中)

出場 池野 匠(山形六中)
 ダブルス
 出場 四釜 瑞己・小川 郁哉
男子ハンドボール部
 ・村山地区高等学校総合体育大会
 ・山形県高等学校総合体育大会
 ベスト8
 三位
ゴルフ部
 ・東北総合体育大会ゴルフ選手権
 山形県予選会
男子
 二位 大石 恵輝(天童一中)
 三位 工藤 颯太(神町中)
 四位 金村 旭朗(山形二中)
 七位 馬場 道成(山形六中)
 国民体育大会山形県予選会
女子
 四位 秋葉 怜奈(天童三中)
 全国高等学校ゴルフ選手権東北
 予選会
男子
 二位 大石・工藤・金村・馬場
 個人
 二位 大石 恵輝(天童一中)
 六位 工藤 颯太(神町中)
女子
 二位 大石 恵輝(天童一中)
 五位 秋葉 怜奈(天童三中)
 東北総合体育大会ゴルフ競技
男子 団体 山形チーム
女子 団体 山形チーム
 二位 大石 恵輝・工藤 颯太
 山形新聞・山形放送杯ジュニア
 ゴルフ大会
 優勝 工藤 颯太(神町中)
 二位 大石 恵輝(天童一中)
 四位 金村 旭朗(山形二中)
 七位 馬場 道成(山形六中)
 東北ジュニアゴルフ選手権
男子
 二位 工藤 颯太(神町中)
 五位 大石 恵輝(天童一中)
女子
 五位 秋葉 怜奈(天童三中)
 山形県ジュニアゴルフ大会
男子
 優勝 工藤 颯太(神町中)
 三位 馬場 道成(山形六中)
 六位 金村 旭朗(山形二中)
 七位 木村 壮吾(上山南中)
 八位 山口 凌次(天童一中)
女子
 優勝 秋葉 怜奈(天童三中)
 全国高等学校ゴルフ選手権大会
男子
 団体 二五位

個人 二四位
 大石・工藤・金村・馬場
 工藤 颯太(神町中)
 一八位
 大石 恵輝(天童一中)
男子 六一位
 工藤 颯太(神町中)
女子 一〇五位
 秋葉 怜奈(天童三中)
女子テニス部
 東北ジュニアテニス選手権大会
 山形県予選会
 U16 シングルス
 優勝 齋藤 和伽(中山中)
 U18 シングルス
 五位 小野寺莉緒(東根一中)
 六位 佐藤 愛音(天童一中)
 U16 ダブルス
 二位 齋藤 和伽・原田えりな
 U18 ダブルス
 三位 茂木 音羽(金井中)
 五位 佐藤 愛音・菅野 亜弥
 八位 長岡 莉胡・小野寺莉緒
 村山地区高等学校総合体育大会
 団体 二位
 シングルス
 三位 茂木 音羽(金井中)
 ダブルス
 二位 茂木 音羽・齋藤 和伽
 三位 佐藤 彩乃・原田えりな
 山形県高等学校総合体育大会
 団体 二位
 シングルス
 二位 茂木 音羽(金井中)
 三位 齋藤 和伽(中山中)
 四位 佐藤 彩乃(天童一中)
 ダブルス
 二位 茂木 音羽・齋藤 和伽
 ベスト8
 武蔵 玲奈・菅野 亜弥
 ベスト8
 赤塚 雛・長岡 莉胡
 東北選抜ジュニア選手権山形予選会
 シングルス
 二位 茂木 音羽(金井中)
 四位 齋藤 和伽(中山中)
 東北高等学校テニス選手権大会
 団体 ベスト8
 シングルス
 ベスト16
 茂木 音羽(金井中)
 ベスト16
 齋藤 和伽(中山中)

ダブルス
 ベスト8
 茂木 音羽・齋藤 和伽
 国民体育大会山形県予選会
 シングルス
 優勝 茂木 音羽(金井中)
 春季ジュニアテニス選手権大会
 山形予選会
 ダブルス
 三位 原田えりな・小野寺莉緒
 女子ハンドボール部
 ・村山地区高等学校総合体育大会
 ・山形県高等学校総合体育大会
 三位
文化 部
吹奏楽部
 ・第64回定期演奏会 開催
 ・第53回村山地区吹奏楽コンクール 優秀賞
 ・第61回山形県吹奏楽部コンクール 金賞
 ・全国高等学校総合文化祭 参加
生物部
 ・身近な川や水辺の健康診断 参加
放送部
 ・第52回山形県高校放送コンテスト テレビドキュメント部門 優勝
 ・第60回NHK杯全国高校放送コンテスト テレビドキュメント部門 優勝
ダンスドリル部
 ・全国高等学校ダンスドリル選手権大会東北大会二〇二二 JAZZ部門 Large 編成 優勝
 SONG/POM部門 Medium 編成 二位
 KICK部門 二位
 M'SS DANCE DRILL TEAM 三位 後藤 優芽(山形八中)
 ・全国高等学校ダンスドリル選手権大会(二〇二二) JAZZ部門 Medium 編成 出場
 KICK部門 四位
 M'SS DANCE DRILL TEAM 出場 後藤 優芽(山形八中)

インターハイ第三位
ボクシング部 角田 琉星
山形県勢9年ぶり
 令和四年度全国高校総合体育大会で、ボクシングバンタム級に出場した角田琉星(山形十中)が三位入賞を果たした。フライ級でインターハイの舞台に立ったのが一年前。階級を変えて臨んだ三年生は、全国の頂きが見えるところに辿り着いた。学校に戻って話を聞いた際、保護者や指導者をはじめ周囲の支えへの感謝を口にする姿が印象に残っている。「高校最後の国体に向けて頑張ります。決して大柄ではないその背中が、心なしか大きく見えた。」
吹奏楽部
歴史のあるホールでの演奏を経験して
 七月三十一日、八月一日、東京文化会館で行われた第四六回全国高等学校総合文化祭「とうきょう総文二〇二二」に本校吹奏楽部が四年ぶりに出場を果たした。
 会場では高校生スタッフの対応がとて温かく、大舞台での演奏を楽しむことができました。
 部長 櫻井 泰喜(蔵王一中)
 出場が決まったと伺ったときは、大舞台で演奏ができる嬉しさと県代表としての立派な演奏ができるのだからかという不安がありました。それでも精一杯の練習を重ね、本番では「日大山形サウンド」を披露することができました。この経験は今後の私たちの活動への大きな自信になりました。

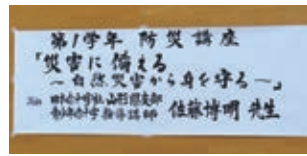


剣道部
二〇年ぶりに
インターハイ出場!
 剣道部が二〇年ぶりのインターハイ出場という快挙を成し遂げた。個人戦の県代表二棒のうちの二つを見事に勝ち取ったのは、全国的な舞台では初敗退に終わったが、今の剣道部に大きな足跡を残した。
 顧問の木村祐太郎に話を聞いた。監督になり九年目。最初の年はなんとか県大会に出場という成績だったが、そこから少しずつやってきたことが形になったと話す。間違っていたなかつた生徒達が証明してくれた。
 次の目標は、団体戦でのインターハイ出場だと言う。二十年前も個人戦での出場だった。すでに主将は次の学年に交代し、あくなき挑戦は始まっている。今後の活躍を楽しみにしたい。



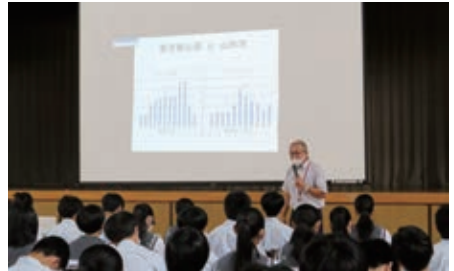
防災講座 災害に備える ～自然災害から身を守る～

七月一四日、一年生を対象として、日本赤十字社山形県支部より佐藤博明氏を講師としてお迎えし防災講座が開催された。



生徒たちは、地震・台風・水害・落雷などのあらゆる自然災害に関心を持って説明を受けました。

ながら、各自が持参したタブレットで資料の中のワークシートに正しい語句や文章を書き込んで、日頃から災害に対する意識を持っておくことの重要性や災害が発生した際の正しい行動について理解を深めた。特に、令和二年七月に発生した山形県豪雨の被害についての説明には、身近な例として強く関心を示していたようだった。講演後には、



各教室でクラスごとに防災講座の振り返りに取り組み、得た知識や感じたことを整理しながら学びを深めることができた。

生活指導講話

本校では毎年、生徒たちが日々の社会生活を送るうえで身の回りに潜む様々な危険を避け、トラブル等に巻き込まれることがないようにとの啓発を目的として、外部から専門の講師の方々を招いた生活指導講話を実施している。今年度も入学後すぐに行われた「自転車交通安全教室」(一年生)を皮切りに、四月末の「SNSトラブルと薬物乱用

防止」(一・二年生)、七月には「十代の性」(一・二年生)、そして八月末には「タバコの害」(二年生)について、それぞれ実施された。生徒たちにとって、身近で具体的な事例を交えながらの説明を聞くことで、危険の回避やトラブルの防止にいかに取り組むべきかを自分の事として考える有意義な機会となった。

消費者講座 年金セミナー

七月八日、三年生を対象とした消費者講座と年金セミナーが開かれた。消費者講座ではイオンクレジットカード株式会社から、年金セミナーでは日本年金機構からそれぞれ講師をお招きし、消費生活に関する正しい知識を身につけることをテーマにご講演いただいた。

消費者講座では、キャッシュレス決済の仕組みやクレジットカードの上手な使い方などの説明を受けた。四月に成年年齢が十八歳へ引き下げられ、生徒たちは卒業後にクレジットカードをつくることを想定しながら、真剣な面持ちで話を聞き、理解を深められたようだった。年金セミナーでは、年金は老齢のリスクだけでなく、障害や死亡時の三つのリスクを保障すること、若者にとつての年金の重要性を説明いただき、年金に対する意識を高めた。



国公立大学 進学講演会

六月一日および一日に、二・三年生と、一年生をそれぞれ対象として開催された。河合塾仙台校から講師を招き、二・三年生に対しては「大学入学共通テストの戦い方」や「受験本番に向けて今やるべきこと」について、一年生に対しては、共通テストに関する話題を中心に国公立大学入試について説明していただいた。進路実現に向けて

各学年で考えるべきこと・取り組むべきことは異なる。自分が今何をすべきかを生徒一人ひとりが真剣に考える絶好の機会となったのではないだろうか。特に三年生諸君にとつては、今回の講演会で得たものが半年後の進路決定に大いに役立ち、自信となるものになったと確信している。



令和4年度 特待生 奨学生 決定

日本大学付属高等学校
特待生

- 佐藤 光紗(山形四中)
- 墨川 琉聖白(鷹中)
- 大宮 遥杜(山形二中)

日本大学山形高等学校
奨学生

- 佐藤 亜海(沖郷中)
- 高橋 咲(山大附中)
- 井上 遥太(山形三中)
- 高橋 優太(日新中)
- 原 孝太郎(山形五中)
- 山川 隆介(山形五中)
- 黒沼 鍊(山形十中)
- 富樫 晴乃(山形五中)
- 門真 りか(赤湯中)
- 遠田 樹生(山形五中)
- 山口 優吾(山形三中)
- 大橋 りん(山辺中)
- 木内 文月(山大附中)
- 佐々木大志(山形一中)
- 赤津 結惟(天童二中)
- 亀井 壮太(山形三中)

日本大学山形高等学校
コカ・コーラ育英奨学生

- 板垣 綺琥(米沢一中)
- 二ノ戸昭幸(高橋中)
- 山口 奈々(陵南中)
- 渡會 圭悟(尾花沢中)
- 吉田 和(天童四中)
- 遠藤 悠翔(神町中)

日本大学学部 合同説明会

六月二二日に法学部、文理学部、経済学部、商学部、国際関係学部、危機管理学部、理工学部、



生産工学部、生物資源科学部、医学部附属看護専門学校の先生方、就職希望者の説明会は自衛隊の方々を講師としてお招きし、日本大学学部合同説明会が行なわれた。

進路希望に合わせて各ブースに分かれ、各学部の所在地や規模といった基礎的な情報から、それぞれの学科の特徴や学生生活等、興味深い話を聞き、理解を深めた。

部活動体験会

八月六日・一日の二回にわたり、中学生を対象とする部活動体験会が行われました。ご参加いただいた皆様へ、厚く御礼申し上げます。



生徒たちは真剣に講演者の説明に耳を傾けており、質問コーナーでは積極的に挙手・発言する様子が多かった。

新採教職員紹介 九月から お世話になります

地理総合を担当します



横田 純一
(地歴科)

私の座右の銘は「できない理由を探すな」です。皆さんの為に私に何ができるのか、を常に考えて授業に臨みます。世界は不思議と未知の魅力に満ちあふれています。授業を通し、少しでもその面白さを皆さんにお伝えできれば嬉しいです。

県縦断駅伝に 出場！ 教諭 森谷 翔

四月二七日～四月二十九日に第六六回山形県縦断駅伝競争大会が開催されました。

この大会は、遊佐町をスタートとし、新庄・長井など各市町村を通り、ゴールの山形市メディアタワー前を目指す全長三〇五・六km、三日間かけて行われる伝統ある大会である。この大会に本校



市民ランナーとして今年も限界に挑戦し続けている。秋には「山形まるごとマラソン」に出場する予定だ。今後も彼の活躍に期待したい。



結果は、本国体への出場がならず。悔しい結果と田嶋は振り返るが、体が動く限りまだまだ続けたいと意欲を燃やす。昇段を目指し取り組み姿勢が高校生や道場に活気をもたらしているようだ。

ミニ国体に 出場！ 職員 田嶋 美代

久々のインターハイ出場。一方、この夏は本校職員の活躍も光った。事務室の臨時職員である田嶋美代が、剣道の国体県代表として八月の東北ミニ国体に出場した。

インカレ出場の実績があるも、大学時代以降は競技から離れていた。一念発起で再開し今年で七年目。全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会に三回出場を果たした。国体の県代表選手に選ばれたのは今回が初めて。

学校説明会 (事前申込み・定員制)

- 第1回 令和4年10月1日(土)
- 第2回 令和4年10月22日(土)
- 第3回 令和4年11月13日(日)
- 第4回 令和4年11月27日(日)
- 第5回 令和4年12月3日(土)

開場 8:50
 受付 8:50~ 9:20
 オープニングセレモニー 9:20~ 9:30
 説明会 9:30~10:50
 以下は希望制になります。

- ・特進コース説明会 11:00~11:40
- ・部活動見学 11:00~12:00
- ・校舎見学 ①11:00~11:20
②11:40~12:00
- ・個別相談 11:00~

※全体会・特進コース説明会・部活動見学は事前の申込みが必要です(定員制)。本校ホームページからお申込みください。
 [受付開始:令和4年9月1日(木)正午, 受付締切:各回の3日前の正午]
 ※上履きをご持参ください。
 ※状況により予定を変更する場合がありますので、参加前に本校ホームページでご確認ください。

「夢の扉を開く」はじめての一步。入試制度が変わります。

入試成績による奨学生制度の導入

令和5年度入試から、本校へ入学した者のうち、一般入学試験の総合順位の上位者に対し奨学金を給付します。

特進コースの推薦専願方式・一般推薦の導入

これまで一般推薦は進学コースのみ実施していましたが、令和5年度入試から、特進コースでも一般推薦を導入します。

推薦入試の出願基準について

推薦入試の出願基準で利用する評定は、3年1学期末(2学期制の場合は前期)の成績、又は12月までの成績のいずれかのものとします。

詳しくは令和5年度生徒募集要項をご覧ください。

フォト・ア・カイト



生徒評議会



総体壮行式



教育実習の様子



薄氷の舞 佐藤 朝陽(楯岡中)



桜華祭 準備



桜華祭 ダンスドリル部



桜華祭 音楽部



Our Distance 若木 美羽(山形七中)



1年体育祭



3年体育祭



放課後の占い師 平吹 彩依(天童四中)

第46回全国高等学校総合文化祭

出品作品「写真部」

編集後記

本誌は毎年春と秋に発行されるが、例年秋の表紙は、桜華祭の賑わいを伝える大きな写真に彩られることが多いようだ。コロナ禍となり、最近の桜華祭はコロナ前とは様子を離れたものになってきている。それでも今回の表紙は、仲間のエネルギーを感じさせるステキな一枚だ。

新聞の一面が伝える力というものを最近考えさせられた。未曾有の自然災害。元首相銃撃。翌日、教室で、図書室で、新聞を見ていた生徒が活字の大きさに驚いている声を幾度か聞いた。思い返せば、子ども心にも強く印象に残っている大事件は、夕刊や翌日の朝刊の見出しの大きさから受けた衝撃が強かった。大人になっても、出来事とそれを伝えた新聞記事やニュースで流れた映像は、セットで記憶に残っている。その事実と共に、仲介物メディアである新聞や映像も、深く心の中に残るものなのだ。時にそのメディアのみが記憶に残ることだってある。

本誌も学校の出来事を伝え、伝えた写真やその言葉が、生徒たちや読者の記憶のどこかに残っていくような存在でありたい。

日本大学山形高等学校校広報部
 〒990-1243 山形市鳥居ヶ丘四一五五
 電話 〇三三一六四一六六三(代)
 FAX 〇三三一六四一一六六三四
 URL https://www.ymg.hs.nihon-u.ac.jp
 印刷 (株)大風印刷
 写真提供 フォトイシヤマ